



トラスただより



白山トラスト地 (白山国立公園内 22ヘクタール 66,550坪) 2009.11.4撮影

奥地人工林の伐採跡地を自然林にもどす流れを

理事長 室谷 悠子

(公財) 奥山保全トラストをご支援くださっているみなさま、いつも本当にありがとうございます。

私たちは今年の夏、熊本、大分・宮崎県境の山々を視察しました。九州は人工林率が大変高く、人工林が延々と続いていました。これらの人工林の多くは放置され、内部が荒廃しています。7月の豪雨で崩れたスギ・ヒノキの人工林の無残な姿もいくつか目にしました。九州ではスギ・ヒノキの販路があるそうで、実際、人工林の大規模皆伐地があちこちに見られました。しかし、驚いたことに、皆伐跡地にはまたスギが植林されており、ショックを受けました。

川の水量低下や集中豪雨で頻発する山崩れなど、植え過ぎた人工林による弊害は明らかです。しかし、地元の人達にはそのような因果関係が認識されておらず、広葉樹林復元の流れはほとんどないそうです。山を木材生産の場として捉え、補助金を受けながらスギ・ヒノキを育てるという流れが出来上がってしまっており、我が国の森林保全上、これは大変大きな問題です。

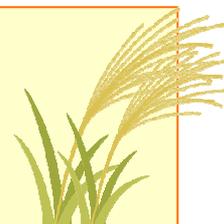
今、伐期を迎えた人工林が全国に多くあります。豊かな水源の森再生や土砂災害防止のためにも、奥地人工林の伐採跡地は自然の広葉樹林に戻すという流れを作っていかなければならないと強く思います。

クレジットカードで会費・ご寄附のお振込みができるようになりました！



〔ホームページから
お願いします。〕

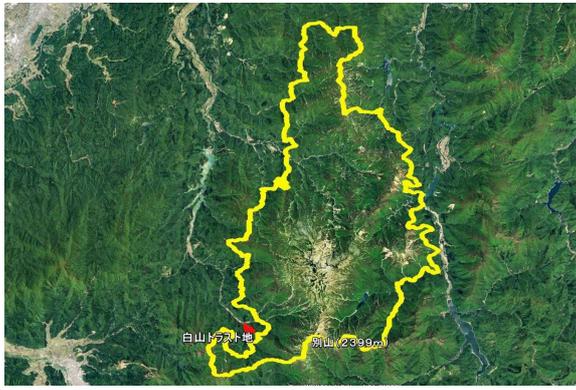
会費：<http://okuyamatrust.org/donation/nyukai>
ご寄附：<http://okuyamatrust.org/donation/kifu>



天然林を満喫！ 石川県白山トラスト地ツアー 5月29日

公益財団法人になってから2回目のトラスト地ツアーは、石川県白山市の白山国立公園内にある白山トラスト地(2008年取得、22ha)です。

このトラスト地の北半分は伐採されたことがなく、ブナやミズナラなどの原生的な森が今も残っています。南半分は一度伐採されましたが、その後放置されていたため、現在は元の原生的な森に遷移中です。オニグルミなど実のなる木がたくさん生えていました。2010年の山の実り大凶作年、クマたちがこのあたりのオニグルミの実を必死に食べにきていたということです。今回のツアーでは、クマハギ(クマがスギの樹皮をはいで形成層をかじった痕)やクマが実を食べるために枝を折った跡が残るオニグルミの木などをみんなで興味深く観察しました。



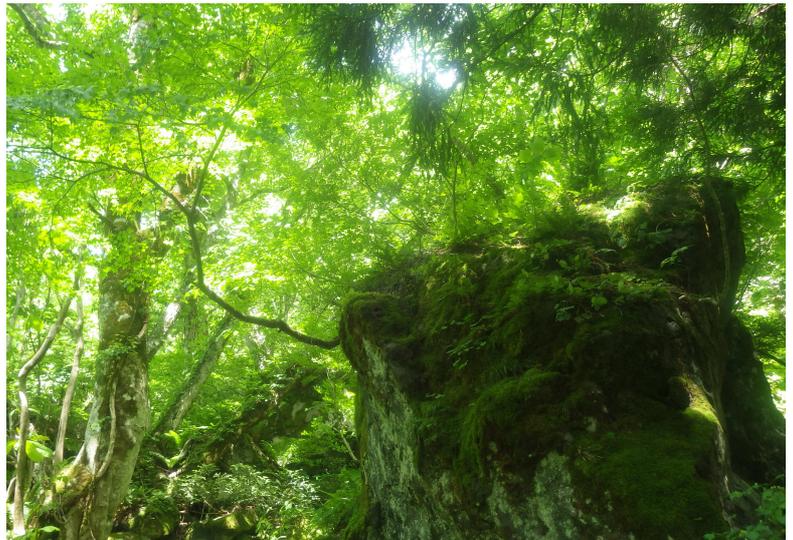
赤色部分がトラスト地 黄枠内は白山鳥獣保護区



後方雪の残る山が白山 トラスト地ツアー参加者

昼食後、釈迦新道登山口から森の中に入り、白山国立公園内の原生林を体験していただきました。

数十メートルのスギ林を抜けると、苔むした大きな岩があり、そこから先は山野草、中低木、高木と上から下まで、様々な高さの植物に覆われた見事な天然の森が広がっていました。上部には、ブナの巨木が群生しており、生命力にあふれた豊かな森に、参加者一同大感激でした。



釈迦新道登山口近くの原生林入口

驚きの植生回復力！ 宮崎県高千穂トラスト地



2009年
取得当時の
高千穂トラスト地
1.85ha



2016年4月
皆伐跡地に自然
植生が回復中



7月19、20日に宮崎県の高千穂トラスト地を視察しました。このトラスト地は購入当時、上方3分の1が2次林、下方3分の2がスギの人工林の皆伐跡地でした。当初は、下方に広葉樹を一部植樹しましたが、ここは自然再生力が目覚ましく、今後は天然更新に任せることにしました。

7年後の現在、カラスザンショウやヌルデ、ネムノキ、アカメガシワなどが繁茂し、高いものは樹高5~6mにまでに成長しています。これらは、伐採跡地に最初に入ってくる樹種です。このまま放置して、豊かな森に遷移していくのを見守ります。

●人工林皆伐跡地のトラストも検討中

九州のように自然再生力が目覚ましいところでは、材を搬出した後の人工林の皆伐地をトラストして、豊かな水源の森に戻していくことも、奥山保全トラストの使命として考えられます。今後、検討していきたいと思えます。

<寄附口座のご案内>

土地取得・トラスト地管理資金
等にご協力ください

・ゆうちょ銀行振替口座 00920-4-305993
(口座名) 公益財団法人奥山保全トラスト